

統合による具体的なメリット・デメリット

統合校の特徴（小規模校としての特色・課題）

学校のあり方	小学校としてのカリキュラム（これまでの小学校と同内容） ★一人一人に目が届きやすく、児童の個性や能力に応じたきめ細かな指導が受けられる教育環境
小規模校としてのメリット	●児童・教員・保護者を含めて互いの結びつきが深くなり、家庭的な人間関係を形成しやすい。 ●他学年との交流ができやすいため、互いを思いやる気持ちが育つ。 ●施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。 ●クラブ活動や行事等において、児童一人一人の活動機会や活躍の場が得られやすい。
小規模校としてのデメリット	●より良い集団を目指す、学級間の相互啓発・競争意識が発揮しにくい。 ●個と集団の学び合いが十分に行われない。 ●交友関係が固定化され、適度な刺激や切磋琢磨が少ない。 ●運動会や学芸発表会などの学校行事においては、少人数のため種目や演目に限界があり、行事としてのダイナミックさに欠ける。 ●友人関係にトラブルが起きると後々まで影響が残る可能性がある。 ●少人数の教員との関わりに限られるため、多様な価値観が育ちにくい。 （担任教員を中心としたカリキュラムの場合）

強みを生かす&デメリット解消につながる取組

他市事例 ●松山市立清水小学校

清水小校舎を活用した交流施設（社会福祉協議会）での地域交流

●新潟県粟島浦村立粟島浦中学校

小学校低学年生活科の授業「命の教育」として、生き物に寄り添うことで命の大切さや思いやりを学ぶことを目的とする。馬の世話を通じて、生き物が幸せであるために必要なニーズを理解し、それを満たす行動を自分の役割として担う。

「生命尊重の心」「探求心」「問題解決能力」「地域への理解」など

地域との交流により、多様な考えに触れる機会を増やす

年代を越えた社会人との交流により、社会性を身に付ける。

その他（案）

- 菊間地域を広く知ることとふるさとを理解する（産業・文化を学ぶ「地域学習」の充実）
- 既存の両小学校での特色を基にした統合校での魅力的な取組の設定

統合コーディネーターによるメニューの具体化（既存校では対応できない業務）

亀岡・菊間小学校の児童にとって統合することについて ※_____線は亀岡小学校のみ該当

区分	メリット	デメリット
学習・活動面	● <u>授業1コマがその学年の授業に充てられる（自習時間がなくなる。）</u> ●学級内の人数が増えることで、多様な意見に触れる機会が増える。 ●学級内・学校全体の人数が増えることで、既存校では出来なかった活動が可能となる。	●一人一人の活躍機会が低下する。 （小規模校であるため、活躍機会は確保しやすい前提）
人間関係	●同学年の活動が増えることで、横のつながりが強化される。 ●同学年の人数が増えることで、刺激や切磋琢磨する機会が増える。	●既存校で行われていた地域との交流活動が縮小・見直しされる。 （多様な考えにふれる範囲は広がるが、頻度・濃度は減る）

地理・施設面で見た、統合によるメリット・デメリット（亀岡小の場合）

① 亀岡小学校の児童にとって 【亀岡小学校で統合する場合は、変更点なし】

② 亀岡小学校の児童にとって 【菊間小学校で統合する場合】

区分	メリット	デメリット
学習・活動面	●屋内・屋外運動場が広がる。	●新しい環境に慣れるのに時間がかかる。
通学面		●徒歩通学時間が延びる。 ●スクールバスでの通学を要する。 （登下校の時間が限定される）

※亀岡方面からのスクールバス想定台数：1台（25人）

地理・施設面で見た、統合によるメリット・デメリット（菊間小の場合）

③ 菊間小学校の児童にとって 【亀岡小で統合する場合】

	メリット	デメリット
学習・活動面		●屋内・屋外運動場が狭くなる。 ●新しい環境に慣れるのに時間がかかる。
通学面		●徒歩通学時間が延びる。 ●スクールバスでの通学を要する。 （登下校の時間が限定される）

※亀岡方面からのスクールバス想定台数：2～3台（60人）

④ 菊間小学校の児童にとって 【菊間小学校で統合する場合は、変更点なし】